

## 《資料名》「伝え守るふるさと」

【対象学年 第5学年】

- 1 主題名 愛郷心 4-(7)
- 2 ねらい ○原の地でのあやめの前の伝説を群読劇で演じようとしているわたしの心情を考えることを通して、この伝統を継承し、発展させていこうとする態度や愛郷心を育てる。
- 3 資料名 「伝え守るふるさと」
- 4 授業の展開例

	学習活動	主な発問と児童生徒の心の動き	留意点
導入	1 原小学校の伝統を振り返り、6年生のあやめの前の写真を見て、事前にとったアンケートを元に、話し合う。	○あやめの前や、原の伝統についてのアンケートの結果を見て、思いを話し合ひましょう。 ・6年生は息がぴったり合っている。 ・休憩時間もなくて大変そうだな。 ・次はぼくたちだな。	○あやめの前の好きな場面などを話しながら、あやめの前について思い出させる。 ○写真なども提示して、関心を高める。
展開	2 資料「伝え守るふるさと」を聞いて話し合う。  ・あやめの前でのがんばり ・「不思議な気持ち」について	○わたしががんばっているのはどんなことですか。 ・できる限り大きい声で群読する。 ・声を一つにする。 ・同じタイミングで息を吸う。 ○わたしが「不思議な気持ち」になったのは、どのような思いからですか。 ・私たちはあやめの前を受け継ぐのだな。 ・今、5年生も不安な気持ちかな。 ・去年の6年生のように堂々とできているかな。 ・来年も、私たちが手本として演じてくれると嬉しい。 ・高学年として、立派にやりとげなければ。 ・私たちが最高学年だから、受け継いで行くのだな。	○わたしがなぜがんばってあやめの前を創りあげようとしているのか考えさせる。  ○6年生があやめの前を通して考えたことを考えさせる。 ○「不思議な気持ち」になるまでに、わたしがどのような思いで練習してきたか、これまでの体験と重ね合わせながら考えさせる。
	3 地域の人たちの思いを聞く。	○地域の人たちの、あやめの前や、原小学校に対する気持ちを聞いてみましょう。  ◎この歌謡には、どのような思いを込めて歌いたいですか。 ・原の地は自然に囲まれた緑豊かな地だと誇りを持っている。 ・あやめの前をこれからも引き継いでいきたい。 ・今度はぼくらが伝統を守り、伝えていく番だ。 ・これからも受け継いでいきたい。	○地域の人々に来て頂いてお話を聞かせてもらうことで、あやめの前の伝統を守り、原の地を愛する心を深める。 ○地域の方の原やあやめの前に対する思いを聞き、原の地域の良さに気づかせる。 ○あやめの前が続けられているのはなぜか考えさせる。 ○ワークシートに記入させ、思いを整理させる。 ○意図的に指名するなどして、友達の気持ちを聞かせ、考えを深めさせる。
終末	4 歌詞に込められた願いと、自分の原に対する思いを照らし合わせながら「心のふるさと原」を歌う。	○原の地域に対する思いが地域の方に伝わるように、歌で表現してみよう。	○歌の歌詞を元に、自分の原に対する思いを話し合わせ、その思いを込めて歌わせる。

## 5 資料

- ・ 伝え守るふるさと ・ 心のふるさと原（歌・資料） ・ あやめの前の写真